

過去の定例教育委員会の会議要旨

開催日	会議要旨
平成25年4月16日	<p>生涯学習課の事務事業の名称変更に伴う行政組織等に関する規則や、家賃改定に伴う霧島市営教職員住宅使用条例施行規則の一部改正について報告を受けました。</p> <p>霧島市教育行政の施策体系表について、後期基本計画と整合性を図った改正案を全会一致で可決しました。</p> <p>また、今回初めて実施した中学2年生を対象とした実力テストについて、動議を提出しました。テスト結果から応用力の不足が想定されるため、家庭学習の手引きを活用するなどして、一人ひとりに応用力を身につける方法を指導してほしいと意見を述べました。事務局は、「高校入試と同じ条件で実施した関係で、生徒に戸惑いもあったと思う。今後分析を進めながら指導方法を改善していきたい。」と答えました。</p>
平成25年5月15日	<p>任期満了に伴う各種条例等審議会委員の任命、委嘱や、小中学校事務支援室運営規程の制定について提案があり、原案のとおり可決しました。</p> <p>前回動議を提出した実力テスト結果について、事務局から追加資料の提示がありました。実力テストに対する生徒の意気込みはどうだったか、また、出題範囲は適切だったか等について質問しました。事務局は、初めての試みであったため反省点もあるが、実際の高校入試の日に合わせて実施したことで、意識付けの機会にはなったと思う。また、実力テストは12月までの履修内容で出題したと答弁しました。</p>
平成25年6月18日	<p>6月議会へ提案した補正予算案や、学校管理規則、学校職員事務処理規程の一部改正を施行したことについて報告を受けました。</p> <p>動議の討論では、学習指導要領が改訂され、教科書が約1.4倍の厚さになるぐらい学習する内容が増えていることに対する学校の具体的な対策について、事務局の見解を質しました。</p> <p>事務局は、学校の判断で夏休みなどに学校行事を実施して、普段の授業日数を増やすなどの弾力的な対応ができるよう配慮していることなどを紹介し、併せて学習の範囲や内容が増えると授業のスピードが速くならざるを得ないことについては、保護者も含めて理解を求めていきたいと答弁しました。</p>
平成25年7月17日	<p>小学校長及び中学校長の権限に属する事務の専決に関する規程を制定したことについて報告を受けました。</p> <p>平成24年度に実施した事務事業について、事務局が5月から6月にかけて事務事業評価を実施しましたが、その結果を踏まえて教育委員の目線での意見を述べました。</p> <p>主な内容は「各地区スポーツ祭開催支援事業」について、「スポーツ推進委員を活用しながら、実行委員会が主体的に事業に取り組むよう支援するべきである。」、「図書館読書推進事業」について、「乳幼児期から本に触れさせることは、親に対しても読書の大切さを訴える機会となっており、今後も力を入れて実施してほしい。」などの意見を述べました。</p>
平成25年8月19日	<p>国分中央高校の平成26年度生徒募集定員について、全会一致で可決しました。</p> <p>平成24年度の教育委員活動状況評価について討論を行い、予算や施策への意見の反映状況を、「スポーツ振興計画の策定にあたり、スポーツ推進審議会への諮問事項の追加を提案した。」と高く評価しました。最終的に「自己点検・評価シート」に基づく評価点を10点満点中8点としました。</p> <p>定例教育委員会終了後に委員研究会を開催し、NRT、CRT(小中学校学力調査)について学校教育課指導主事から詳しく説明を受けました。テストの結果を学校がどのように活用しているか、今後、引き続き調査、研究していくこととしました。</p>

過去の定例教育委員会の会議要旨

開催日	会議要旨
平成25年9月18日	<p>9月議会へ提案中の補正予算第3号の内容について、説明を受けました。小学校英語教育の推進と、いじめ防止対策推進法施行に伴う来年度の取組について討論を行いました。</p> <p>英語教育の推進については、話す力とテストの点数のどちらを重視するのかという、問題提起を行い、議論を深めました。事務局は子どもたちに求められている学力の内容が変わりつつあることを紹介し、委員は会話力を高めることも大切であると意見を述べました。</p> <p>いじめ防止対策関係については、保護者が、携帯電話やインターネットに代表されるように、子どもたちがどんなことを考えて、どんなことに興味を持っているのか、わからないことに不安感を募らせている実態があることを確認し、行政としてどのような支援ができるのか、引き続き調査、研究していくこととしました。</p>
平成25年10月15日	<p>舞鶴中学校の生徒数増加対策を協議してきた「通学区域等適正化審議会」の結果及び、8月に実施した「いざ行け！きりしま探検隊」と「きりしまっ子立志塾」についての総括について、報告を受けました。生涯学習課の2大事業について中学生の参加者が少ないことから、時期も含めて参加しやすい工夫を求めました。</p> <p>また、欠員の生じていた文化財保護審議会委員の補充を行う議案を、全会一致で可決しました。</p> <p>定例会終了後、傍聴に訪れた市PTA連絡協議会役員と意見交換を行いました。</p> <p>市P連からは近年の地球温暖化に伴い、空調設備を導入できないか質問がありました。事務局は市内の一部の地区しか補助金の対象にはならないことを説明し、多額の財源を伴うため、今後の研究課題とさせてもらいたいと答弁しました。</p> <p>一方、教育委員は、PTA活動を子育てに関する貴重な情報交換の場と考えることや、親と教員は子どもを教え導く運命共同体であると持論を展開しました。最後に、毎月の定例会はいつでも傍聴ができることを説明し、ホームページで日時、場所などを確認してほしいとお願いしました。</p>
平成25年11月15日	<p>学校施設の安全対策についてや、鹿児島神宮一帯が「大隅正八幡宮境内及び社家跡」として、平成25年10月17日付官報に掲載され、正式に国指定史跡に認定されたこと、今後、整備計画を策定すること等について報告を受けました。</p> <p>2階以上の校舎からの転落防止対策を全会一致で承認しました。また、個人資産を文化財に指定したら、市から証明書みたいなものを発行することで、資産価値を高めることはできないものかと問題提起を行いました。</p> <p>事務局から素案が示された来年度の新規事業である「イングリッシュ・サマーキャンプ」については、どの中学校からもなるべく均等に受講できるよう配慮すべきと意見を述べました。</p>
平成25年12月10日	<p>児童生徒の食物アレルギー対応マニュアルを作成したことと、霧島ジオパークについてのこれまでの取組と課題について報告を受けました。食物アレルギーについては、学校給食だけではなく、学校行事等で様々な食材を口にする時も十分な配慮を行うよう要請しました。</p> <p>青少年健全育成事業関係報告書の活用方法について、動議を提出しました。PTA活動の活性化の視点や、参加者の拡大の観点から、報告書が父母の目に触れるような工夫をするよう求めました。事務局は、報告書の配布、活用方法について改善する旨答弁しました。</p>

過去の定例教育委員会の会議要旨

開催日	会議要旨
平成26年1月20日	<p>平成26年度の霧島市教育行政の基本方向案について、討論を行いました。1校1運動や1校1音自慢など、様々な分野の運動について学校側の対応可能であるのか確認しました。事務局は、県を通じて呼びかけのある運動もあり、各学校が精力的に取り組んでいると答弁しました。また、それとは別に、すべての学校で独自の特色を1校1自慢としてPRしていくことを、基本方向案に盛り込みたいと説明しました。</p> <p>「きりしま総合大学設置構想案」については、今後引き続き議論を深めていくこととしました。一番大切なことは、この構想を具現化して市民へ周知する際、一人でも多くの市民に理解を得ることではないかと意見を述べました。</p>
平成26年2月21日	<p>3月議会に提案中の「いじめ問題対策委員会設置条例」の内容や、ほかの条例改正について報告を受けました。また、それらに関連した規則の改正については、全会一致で可決しました。</p> <p>平成26年度の霧島市教育行政の基本方向案については、施策ごとに討論を行いました。国分中央高校については、生徒の資格取得の支援を方向性に盛り込むよう意見を述べました。また、方向性を文章化する際は、極力抽象的な表現は避け、具体的に記述するよう要請しました。</p> <p>劇団四季のボランティア公演について動議を提出しました。鑑賞した児童の感想文を劇団側に送付するなど、この公演を継続していただけるような工夫をするよう提言しました。</p>
平成26年3月20日	<p>平成26年度の霧島市教育行政の基本方向案については、市民にわかりやすいものとするため、スポーツの振興の中のチャレンジデーなどについて、事業内容を書き加えるよう提案しました。</p> <p>いじめ防止基本方針は、新たに設置する附属機関の形態を確認し、原案のとおり可決しました。また、生涯学習推進計画案については、学習した成果を還元するためには、行政主導の仕組みづくりが肝要ではないかと意見を述べました。この計画案は引き続き、次回以降継続審議することとしました。</p>